

＜第 19 回大会（2016 年 12 月）で発表された方へのお知らせ＞

（日本語による発表をされた方用）

第 19 回『大会発表論文集』（Proceedings）（第 12 号）

1. 執筆規定

1. 用紙・枚数： A4 用紙、横書き。「研究発表」は 8 ページ以内、「ワークショップ発表」、「ポスター発表」は 4 ページ以内。いずれも、要旨、注、附録、謝辞、参考文献等を含む。字数は自由。
2. 書式：
 - a. 余白は上下 30mm、左右 25mm とする。1 行文字数、行数、段組などは自由（ただし、文字のサイズは極端に小さくしないこと）。
 - b. 原稿の 1 ページ目には、タイトル、氏名、所属(E-mail アドレスは任意)を記し、そのあと 2 行開けて要旨、本文を続ける。
 - c. 「はじめに」または「序論」の節は 0. からではなく、1. から始めること。
 - d. 例文の前後は 1 行、各節の前は 1 行開ける。
 - e. 注を付ける場合は、巻末とし、本文と参考文献の間にまとめて入れる。
 - f. 参考文献のフォーマットは『語用論研究』の執筆要領に従うこと（本学会のホームページ <http://www.pragmatics.gr.jp/publications.html> 参照）。
3. 要旨：
 - a. 要旨は（日本語での論文も含め）全て英語によるものとし、約 100 語で書く。
 - b. 要旨は＜Abstract＞とページの左上に記し、原稿の 1 ページ目には、タイトル・氏名・所属と要旨を記すこと。
4. キーワード：
 - a. 要旨の下に【キーワード】：或いは【Keywords】：と明記して、日本語の論文は日本語で、英語の論文は英語で、5 個以内を添えること。
 - b. キーワードと本文との間は 2 行アケとすること

原稿のイメージ (1 ページ目)

タイトル○○○
氏名○○ 所属○○
<Abstract>
.....
【キーワード】: 1、 2、 3、
本文

2. その他の注意事項

- a. 内容は、大会発表に沿ったものとする（但し、必要な修正を施すこと）。
- b. 使用言語は原則として日本語とする（発表言語に合わせる）。
- c. 『プロシーディングズ』に掲載した内容は、さらに発展させて、『語用論研究』に投稿することができる。その場合は、必ず十分な加筆・修正を施すこと。
- d. 「個人情報ファイル」として、別の用紙 (A4)に次の事項を記入したファイル提出すること：
 - ・ 「研究発表」、「ワークショップ発表」、「ポスター発表」のいずれであるか。
 - ・ 発表論文タイトルと発表者名（日本語） 氏名（ふりがな）
 - ・ 発表論文タイトルの英語訳と発表者名のローマ字表記。

ワークショップ発表の代表者はワークショップの全体タイトルの英訳も記入のこと。

- ・ 連絡先 : E-mail アドレス

3. 原稿提出の締め切り (事情により延長しました) :

2017年3月31日 2017年5月7日 23:59

4. 原稿の提出方法 :

「原稿ファイル」及び「個人情報ファイル」を下記宛てに送付する。送付は、ファイルを添付した電子メールとする。

【電子メールの送付先】

日本語用論学会 大会運営部 プロシーディングズ 首藤 佐智子

proceedings -at- pragmatics.gr.jp

(原稿送付の際は、確実に受信できるように、出来るだけ無料メールアドレスのご使用をお控えください。)

注意 : 送信後、1週間経っても、原稿を受理した旨の確認返信メールが無い時には、shudo -at- waseda.jpまで連絡してください。 (-at-は@マーク)